

文部科学省委託事業

新時代に対応した高等学校改革推進事業 (普通科改革支援事業)

第2年次 実施報告書



令和6年3月

長崎県立松浦高等学校

(巻頭言)

新しい普通科 = 地域科学科とは？

長崎県立松浦高等学校 校長 舟越 裕

表題は、あえて昨年度と同じものにしました。本研究指定事業において本校が設定した3つ研究計画を推進していくことは当然ですが、その前提として「普通科とは？」「新しい普通科とは？」「地域科学科とは？」という問いと、それに基づく理念構築がなければ、形式的にカリキュラムを整え、地域との連携体制を構築するだけに終わりかねません。現状の普通科が抱える課題を乗り越え、多様な生徒一人一人の可能性及び能力を最大限伸長するための学びを充実させるには、課題意識と向き合い続ける必要があります。

昨年度の冊子には、本校の課題を以下のようにまとめています。

短い準備期間の中で新学科を立ち上げたため、中学校や地域へ説明不足を原因の1つとする生徒募集での苦戦という課題があります。さらに、「地域科学科とは何か」、「従来の普通科との違いは何か」という点について、校内での目線合わせが十分にできていないまま新学科がスタートしたため、新学科の軸、つまり研究の軸が不明確となってしまったという課題があります。

この課題の解決が、2年目にどの程度進んでいるか、ここで示しておきます。

一点目の本学科の新しいチャレンジに関する中学校や地域への浸透については、コーディネーターや教務・広報部を中心に、本校の教育活動を積極的に広報してきた結果、2年連続で志願者を増やしていることから、徐々に浸透してきていると考えています。ただし、他の高等学校も魅力化・特色化に取り組んでいます。その中で本校としては、日々の授業改善や地域課題探究学習「まつナビ」の充実に加えて、今年度から取り組んでいる「まつうら高校応援団」や「松高学び場」による「地域に開かれた学び」の創出を含めて、松浦高校でできない学びの充実にも力を入れていきたいと考えています。

二点目の校内での目線合わせについては、まず「まつナビ」の活動に関しては毎週1回「まつナビ・プロジェクト」活性化ミーティングを開催し、学年担当者間の情報共有を図っています。その上で、各学年会で実施内容や教員の役割分担等を共有しながら進めています。こうして、活動自体の目線合わせはある程度図ることができていますが、新学科の理念の共有、目線合わせについては、年度初めにスクールミッション及びスクールポリシーを提示しているにすぎず、教職員への浸透には課題があります。その結果、生徒への理念の浸透も不十分となり、この点については、校長として責任を強く感じています。

現行の学習指導要領の理念を実現するために、「チームとしての学校」の体制整備が求められています。そこでは、「新しい時代に求められる資質・能力を育む教育課程を実現するための体制整備」として、社会に開かれた教育課程、指導方法の不断の改善、カリキュラム・マネジメントの推進の必要性が示されています。まさに、本研究指定事業に求められていることです。研究指定3年目となる次年度は、教職員間で理念や情報の共有を図り、「チームとしての学校」として持続可能な体制整備をすすめていきます。

= 新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）目次 =

巻頭言

第1章 事業の概要

1	本校の概要	1
1 - 1	所在地	1
1 - 2	設定課程および在籍生徒数	1
1 - 3	学校経営方針	1
1 - 4	令和5年度グランドデザイン	4
2	事業構想（ビジュアル資料）	5
3	令和5年度実施計画の概要	6
3 - 1	3ヶ年の実施計画の概要	6
3 - 2	令和5年度の計画の内容	7
3 - 3	事業の進捗状況の定期的な確認や改善計画	9
3 - 4	成果の普及のための計画	10
3 - 5	管理機関の役割と実施計画	10
4	先進的な教育の取組の概要	12
4 - 1	実施計画の概要	12
5	地域科学科	13
5 - 1	設置の目的	13
5 - 2	令和5年度における活動の重点項目	15
5 - 3	先進的な教育の取組～まつナビ・プロジェクト～	17

第2章 事業の内容（実施計画、）

1	実施計画	19
1 - 1	活動目標	19
1 - 2	実施計画	19
1 - 3	1年生の活動実績	19
1 - 4	2年生の活動実績	24
1 - 5	地域素材を活用した授業実践	28
1 - 6	ルーブリックの改善	31
1 - 7	松浦高校における事業の管理	34

2	実施計画	36
2 - 1	活動目標	36
2 - 2	実施計画	36
2 - 3	運営指導委員会	36
2 - 4	コンソーシアム会議	37
2 - 5	学校外の組織等との協働	39
2 - 6	コーディネーターの活動内容	44
2 - 7	新学科設置の関係者への説明及び成果普及のための活動実績	48
2 - 8	国の指定終了後の取組継続のための仕組みづくりに関する取組	49
2 - 9	他の事業との関係	50
3	実施計画	51
3 - 1	活動目標	51
3 - 2	実施計画	51
3 - 3	活動内容	51

第3章 管理機関の役割

1 1	管理機関による活動実績	54
1 2	管理機関における事業全体の成果検証・評価	55

第4章 事業検証と次年度に向けて

1 - 1	今年度の目標設定についての検証	57
1 - 2	次年度に向けて	76

第1章 事業の概要

1. 本校の概要

1-1 所在地

〒859-4501 長崎県松浦市志佐町浦免738-1

1-2 設定課程および在籍生徒数（令和6年3月1日現在）

	1年	2年	3年	計
普通科	-	-	49	49
地域科学科	37	28	-	65
商業科	25	23	26	74
合計	62	51	75	188

1-3 学校経営方針

1 校訓

「自己開拓」に全力を注ごう 正しい人間関係をきずいていこう よき市民性を身につけよう

2 スクールミッション（教育方針）

<どのような生徒を育成するのか：社会的役割>

校訓「自己開拓」の精神のもと、基礎学力を高め、主体的に考え粘り強く行動できる人材を育成します。また、持続可能な地域や社会の担い手として、豊かな人間性や協働性を備えた人材を育成します。

<どのような教育を目指すのか：教育理念>

不断の授業改善に基づき、学力をはじめとする生徒一人ひとりの多様な資質・能力の育成を目指します。また、生徒一人ひとりの進路実現を図るため、地域・大学等との協働による探究的な学びや、部活動をはじめとする様々な活動を通して、キャリア形成力や人間力を高める教育を目指します。

<学校の特色、強み、魅力（独自の教育）等：今後の方向性>

全国初の新しい普通科を設置した松浦市唯一の高等学校として、地域社会のニーズや生徒一人ひとりの進路希望に応えられる多様な教育活動の展開を図ります。また、文部科学省研究指定の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」および「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業」の成果を生かし、地域・大学等との協働や県内外の高校との連携による探究的な学びの一層の充実を図ります。

3 スクールポリシー

【育成を目指す資質・能力に関する方針】(グラデュエ ションポリシー)

- 将来の目標を持ち、その実現に向けて主体的に努力を続ける人間を育成します。
(キャリア形成力)
- 社会の一員としての責任感を持ち、相手を思いやることができるなど、品性を備えた人間を育成します。(責任言動力)
- 地域や社会の課題解決や発展に貢献しようという意欲を持つ人間を育成します。
(ふるさと貢献力)

【教育課程の編成及び実施に関する方針】(カリキュラムポリシー・学びの方針)

将来の目標を実現させるため、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善及びICTの積極的な利活用を推進します。

これからの社会を生き抜くために必要な課題解決能力や協働性、ふるさとを大切にす姿勢などを育成するため、地域の企業や大学等と連携・協働しながら「まつナビ・プロジェクト」や授業での探究学習の充実を図ります。

「ルーブリック」や「ポートフォリオ」を活用した学習活動の振り返り等を通じて、自己調整力やキャリア形成力の育成を図ります。

【入学者受け入れに関する方針】(アドミッションポリシー・求める生徒像)

- 高い志や将来の目標を持ち、その実現に向けて取り組もうという意欲が高い生徒を募集します。
- 高校生活(学習、部活動、学校行事等)に積極的に取り組み、他者と協力して行動しようという意欲が高い生徒を募集します。
- 地域や社会の課題解決に貢献したいという意欲が高い生徒を募集します。

4 重点目標

(1) 学びあう学校づくり(授業の充実・進路希望の実現)

平素からの授業改善やICT機器の利活用等により、知識・理解など基礎基本の徹底を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成する。

ルーブリックやポートフォリオ等を積極的に活用しながら観点別評価の充実に取り組み、生徒の資質・能力を多面的に評価することで、生徒が主体的に学びに向かう姿勢を育成する。

入試情報や検定や就職に関する情報の収集・分析・発信に取り組み、生徒個々のキャリアプランニングによる進路希望の実現を図る。

(2) 支えあう学校づくり(生徒指導の充実と教育相談の推進)

生徒の人権に配慮し、支援や配慮が必要な生徒には柔軟に対応し、全教職員で情報共有を図るとともに、関係機関と速やかに連携をとりながら支援・指導にあたる。

自他の命、健康・安全を守ることを最優先とし、社会の一員としての責任感を持たせ、

相手への思いやりのある言動を心がけさせるなど、品性を備えた人間を育成する。

(3) 伸ばしあう学校づくり(生徒の多面的な力を育む教育活動の推進)

学校行事、学級活動、部活動、生徒会活動、ボランティア活動などを通して、生徒の主体性、積極性、協働性を養う。

各教育活動の目標を明確にした上で、生徒自身が目標実現に向けたプロセスを自己評価し、自らの成長を実感することができるよう支援・指導にあたる。

(4) 「まつナビ・プロジェクト」(生徒の「資質・能力」の育成)の充実

文部科学省研究指定事業を軸として、地域・大学・中学校等と連携して「まつナビ・プロジェクト」の充実を図り、未来の地域社会の担い手となる人間を育成する。

生徒の「自分事」としての課題研究活動と各教育活動の連携を図り、課題解決能力をはじめとする多様な資質・能力を育成し、生徒のキャリア形成を図る。

普通科改革の先駆的な取り組みを県内外に発信し、「地域に根ざした高等学校」のネットワークの構築を進めるための体制・運営の研究を進める。

(5) 中学校・地域社会・保護者との連携

学校ホームページ、学校だより、SNS、保護者へのメール配信などを通じて、学校から最新情報を発信し、本校への理解を促進する。

学校説明会、オープンスクール、情報発信等の広報体制の改善を図り、生徒募集活動の充実によって志願者の増加を図る。

(6) 教職員の「ワーク・ライフ・バランス」の推進

教員間の協働性を高め、持続的な教育活動が展開できる職場環境づくりを推進する。

1 - 4 令和5年度グランドデザイン

令和5年度の松浦高校のグランドデザインは以下のとおりである。将来の目標を持ち、その実現に向けて主体的に努力を続ける人間になるための「キャリア形成力」、社会の一員としての責任感を持ち、相手を思いやることのできるなど、品性を備えた人間になるための「責任言動力」、地域や社会の課題解決や発展に貢献しようとする意欲を持つ人間になるための「ふるさと貢献力」といった力を身に付けた生徒を育てる。この実現のために、キャリア形成につながる学びの充実を図り、生徒一人一人の進路実現をかなえていく。

令和5年度 松浦高校グランドデザイン

～未来の地域イノベーション人財の育成～

このような力を身に付けた生徒を育てます

○キャリア形成力

将来の目標を持ち、その実現に向けて主体的に努力を続ける生徒

○責任言動力

社会の一員としての責任感を持ち、相手を思いやることのできるなど、品性を備えた生徒

○ふるさと貢献力

地域や社会の課題解決や発展に貢献しようという意欲を持つ生徒

キャリア形成につながる学びの充実



松浦市から様々な学びの支援

補習・模擬試験・英検・商業検定補助、航路代・部活動強化・まっナビ支援等

一人一人の希望に応じた進路実現

○地域科学科・普通科

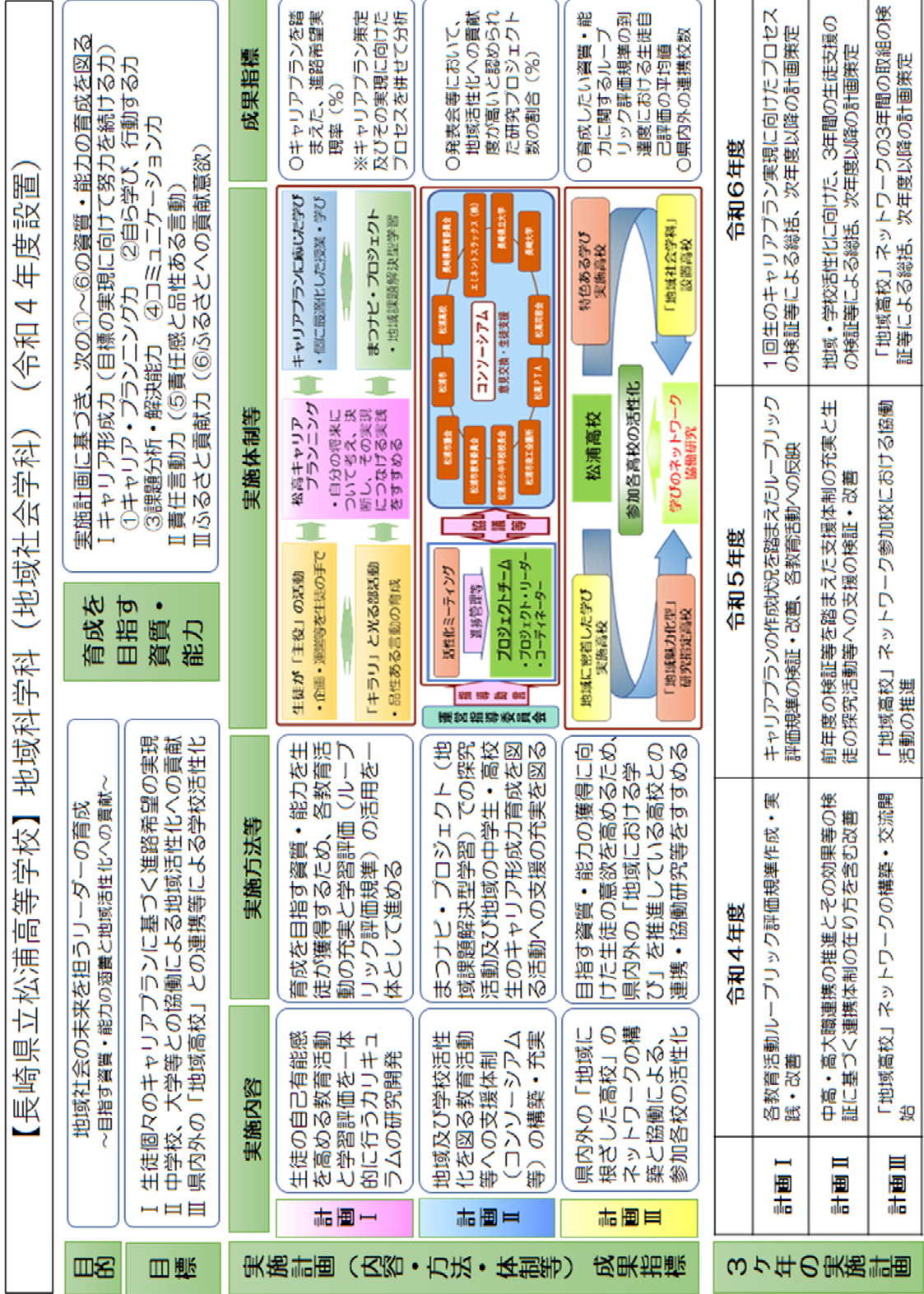
国公立大学・私立大学
各種専門学校

○商業科

国公立大学・私立大学（商業科枠）
各種専門学校、市内外の優良企業

2. 事業構想（ビジュアル資料）

松浦高校における本事業の構想は以下のとおりである。



3. 令和5年度実施計画の概要

3-1 3ヶ年の実施計画の概要

地域科学科(地域社会学科)における令和4～6年度の実組の実効性を高めるため、取組の目的・目標及び教育活動を通じて生徒が獲得することを旨とする「資質・能力」を踏まえ、次の～の実実施計画及び各年度における実施計画を策定。

(1) 実施計画

育成を目指す「資質・能力」に基づき、教科等を横断する学びを含む、生徒の自己有能感を高める教育活動と学習評価を一体的に行うカリキュラムの研究開発
コンソーシアムを中心とした、中学校と高等学校の学びの連携・交流及び高等学校と大学・企業等の連携による、SDGsを踏まえた地域課題解決型探究活動及びキャリア形成力の涵養活動を組織的に支援する体制の構築・運営の充実
県内外の「地域に根ざした高等学校」のネットワークの構築と、地域・学校活性化を目標とした学びを進める体制・運営の研究開発

(2) 各年度における実施計画

令和4年度

- 計画 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善
- 計画 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携・協力体制の在り方を含む改善
- 計画 「地域高校」ネットワークの構築・交流の開始

令和5年度

- 計画 生徒のキャリアプランの作成状況を踏まえたルーブリック評価規準の検証・改善及び各教育活動への反映
- 計画 令和4年度の検証等を踏まえた支援体制の充実と生徒の探究活動等への支援の検証・改善
- 計画 「地域高校」ネットワーク参加校における生徒間の協働活動の推進、教員間の情報共有

令和6年度

- 計画 地域科学科1回生のキャリアプランの実現に向けたプロセスの検証等による総括、次年度以降の計画策定
- 計画 地域・学校活性化に向けた、3年間の生徒支援の検証等による総括、次年度以降の計画策定
- 計画 「地域高校」ネットワークの3年間の取組の検証等による総括、次年度以降の計画策定

3 - 2 令和5年度の計画の内容

学期	事業の内容	
	カリキュラムや教育方法等の開発	関係機関等との連携・協力体制の構築
1 学期	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資質・能力」を獲得するために、ルーブリック評価規準を用いたポートフォリオへの記録と運用開始 ・将来的に松浦市を担うふるさと貢献力と課題分析・解決能力を高めるために、生徒が松浦市未来会議へ参加 ・キャリアプランの実現に向けて、生徒の各専門領域への興味関心を高め、キャリア意識の向上を図るために、キャリア講演会を実施 <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終発表に向けて、外部人材等からアドバイスを受けることで研究のブラッシュアップを進めることを目的とした中間発表会を実施 <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとへの貢献意欲を高めるために、松浦市の現状を知り、歴史等についての情報収集を行う、生徒が企画したバスツアーを実施 ・生徒が自ら学び、行動する力を身に付けるマインドセットのために、外部人材によるワークショップを実施 	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリック評価規準の運用開始 ・本校のグランドデザインやスクールミッション・ポリシー等の周知、募集活動及び中学校と高等学校の学びの連携・交流を進めるために、中学生向け説明会を実施 ・本校の研究開発に対する支援及び事業推進体制の構築を図るため第1回コンソーシアム会議を、また、今年度の実践活動について指導助言を行う第1回運営指導委員会の実施 ・進学や就職といった幅広い進路について学びつつ、地域との協働による活性化を図るために高大連携講座を実施 ・これまでの高校間交流をもとに、「地域高校」ネットワーク構築に向けた連絡・調整を開始 <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の探究活動において、深い学びを実現するために行うバスツアーについて、松浦市やコンソーシアム等と企画・調整を実施 ・中学校との学びの連携・交流を進めるために、本校オープンスクールを開催 ・松浦市の課題等を知るために、ブース形式説明会を実施（松浦市各課） ・松浦市で活躍している事業所を知るために、松浦商工会青年部講演会を実施
2 学期	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科等の横断的な学びを進めるとともに、課題分析・解決能力の基礎的な力を身に付けるために、公開授業を実施 	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の「地域における学び」を推進している高校と本校ファシリテーター等

	<p>(商業科との連携も含む)</p> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まつナビ・プロジェクト」の実践活動について、地域の方々へ生徒が主体的に地域課題について考え、実践した成果を発表し、周知をはかるために、課題研究発表会を実施 <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを有効活用し、キャリアプランニング力を高め、進路希望の実現につなげる職業調べを実施 ・コミュニケーション力や課題分析・解決能力を身につけるために、学習報告会を実施 	<p>でネットワークを構築するために、地域のコーディネーター等による連携・協働研究ミーティングを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の未来を担う人材育成を図りつつ、ふるさとへの貢献意欲を高めるために、「地域の達人」による人生の達人セミナーを実施 ・コンソーシアム等と生徒が次年度実施する課題研究活動のテーマの設定に向けて、コンソーシアムの構成事業所等と連絡・調整を実施
3 学 期	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望実現のために、ポートフォリオを用いて、1年間の活動の振り返りを実施 <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動成果の校外に向けた周知をはかるために、外部コンテストに参加 ・将来の職業選択やキャリア・プランニングを進めるために、地域の外部人材へのインタビュー等を通して、松浦市仕事図鑑(仮称)を作成 <p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題発見・テーマ設定力といった課題分析・解決能力を身に付けるために、地域の未来を考察し、発表、実践する次年度実施の課題研究活動テーマ設定 ・課題研究活動の実践活動の手法等を学びつつ、コミュニケーション力等を高めるために、課題研究構想発表会を実施 	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた課題研究活動の検証を行い、次年度の計画立案を行うために、コンソーシアム会議を実施 ・年間を通じた事業の検証及び指導助言を行うために、運営指導委員会を実施 <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の「地域高校」ネットワークを活用し、学校活性化につながる、生徒の学習意欲を高めるオンライン交流会を実施

3 - 3 事業の進捗状況の定期的な確認や改善計画

地域科学科における事業の進捗を管理するとともに、計画 ~ を中心に進める事業の質的な向上を図るため、P D C Aサイクルに基づく組織マネジメントを校内外の組織をつなげて推進する。その際、成果指標（アウトカム）設定の考え方等に基づき、事業の成果と課題を検証する。

(1) 定期的な確認や改善を図る組織及びその活動内容

地域科学科・活性化ミーティング（プロジェクトチーム）

- ・ 成果目標を踏まえて、研究開発の進捗管理を行い、計画・方法等の改善を図る。

コンソーシアム会議

- ・ 定期的なコンソーシアム会議における、松浦高校との連携の内容・方法等に関する意見等を踏まえ、プロジェクトチームが中心となって改善案を検討する。

運営指導委員会による検証・改善

- ・ 定期的な運営指導委員会による、成果目標を踏まえた事業の検証及び指導助言等により、プロジェクトチームが中心となって改善案を検討する。

(2) 成果指標（アウトカム）設定の考え方

計画 における成果指標

- ・ 生徒個々のキャリアプランを踏まえた、進路希望の実現率（％）

計画 における成果指標

- ・ 課題研究発表会等において、審査員等から地域活性化への貢献度が高いと認められた研究プロジェクト数の割合（％）

計画 における成果指標

- ・ 育成したい資質・能力（課題分析・解決能力、コミュニケーション力、ふるさと貢献力）に関するルーブリック評価規準の到達度（5段階）における生徒自己評価の平均値

(3) その他

生徒、保護者、教職員等アンケートの実施

- ・ 地域科学科の取組に関する理解度、満足度等のアンケート調査の結果分析に基づき、事業計画の改善を図る。

3 - 4 成果の普及のための計画

次の(1)～(3)により、成果の普及を図る。

(1) 小・中学校及び地域等への成果普及

松浦高校のWebページ上に専用のカテゴリを作成し、以下の生徒の活動状況を随時更新する。

松浦高校の生徒が、小・中学校を訪問し、児童・生徒向けに課題研究の成果を発表する。

(2) 県内外の「地域に根ざした高等学校」のネットワーク間の成果共有・成果普及

宮崎県飯野高校の「全国グローバルリーダーズサミット」等に参加し、互いの活動や成果を共有し、協働することによって生じる各種の成果をそれぞれの学校が発信し、全国レベルでの普及につなげる。

(3) 教員向けの成果共有・成果普及

実践報告発表会等において地域への貢献度が高いと認められる生徒のプロジェクトを共有するため、Webへの掲載・発表動画配信や関係各校への報告書等の送付により、広く情報発信を行う。

3 - 5 管理機関の役割と実施計画

(1) 実施体制や事業の管理方法

本事業の管理・指導・支援は、長崎県教育庁総務課県立学校改革推進室及び高校教育課が行うこととする。

管理機関は、本事業の運営に関して指導助言に当たる運営指導委員会を設置するとともに、地域課題解決型学習を組織的に支援するコンソーシアムとの連携協力体制を整備する。また、その連携協力が円滑に行われるよう、連絡調整を担うコーディネーターを松浦高校に配置する等、取組の支援を行う。

- ・運営指導委員会は、学識経験者や行政職員等、専門的見地から指導助言に当たる第三者により組織し、事業の目的・目標を踏まえた地域科学科の研究内容について客観的に検証及び指導助言を行う。

- ・コンソーシアムは、松浦市、大学、地元企業・経済団体、小・中学校等、豊富な実践と高い見識を持つ方々により構成し、幅広い視点から専門的な指導と助言を受けられる体制を築く。

- ・コーディネーターには、管理機関、松浦高校、コンソーシアムと将来の地域ビジョン・求める人材像等を共有でき、地域の実情や魅力・課題に深い見識を有する方を指名する。

管理機関は、運営指導委員会と連携しながら、定期的に松浦高校を訪問し、教育課程編成、学校設定科目、カリキュラム・マネジメント、ルーブリックによる評価及び授業改善への指導助言等を行うとともに、コンソーシアムの更なる充実や、「地域に根ざし

た高等学校」ネットワーク構築に向けて必要な支援を行う。そして、進捗状況を把握した上で事業全体を管理し、事業の検証・改善への提案を行う。

地元松浦市や松浦高校と連携しながら各種メディア等における広報活動を行い、地域科学科における教育活動や「資質・能力」について、中学生、保護者、地域住民への周知及び理解促進を図る。また、松浦高校を普通科改革のモデルケースとして、実践報告発表会等を通して他校への普及を図る。

(2) 管理機関における事業全体の成果検証、評価のための体制、考え方

管理機関は、松浦高校、コンソーシアム会議及び運営指導委員会と連携し、事業全体の成果検証及び評価を行う。

松浦高校と連携した検証・評価

- ・生徒の目標達成度合いについて、管理機関、学びアドバイザー等により評価を行い、取組の成果を検証する。検証した結果は、運営指導委員会に報告する。
- ・広報活動により、地元中学生や保護者に対して、地域科学科の設置目的や、「資質・能力」についての理解促進が図られたかどうかを検証する。

コンソーシアム会議と連携した検証・評価

- ・探究活動への研究支援及び生徒のキャリア形成への支援の充実に向けた取組の検証及び評価を行う。

運営指導委員会と連携した検証・評価

- ・コンソーシアム会議等から報告された検証結果も踏まえ、事業全体の成果検証及び評価を行う。
- ・成果検証及び評価の結果について、コンソーシアム会議等に対してフィードバックを行う。
- ・定期的な運営指導委員会による事業の検証及び指導助言等を踏まえ、プロジェクトチームが中心となって改善案を検討し、以後の計画等に反映させるとともに、次回会議でその内容を報告する。

4. 先進的な教育の取組の概要

4 - 1 実施計画の概要

(1) 松浦高校普通科(令和3年度まで)の特色

松浦高校は、長崎県松浦市内にある唯一の高等学校であり、普通科・商業科の併設校である。

入学者の減少を受けて、平成25年度から、松浦市による、松浦高校の生徒を対象とした就学支援制度が創設された。また、翌26年度には、それまでの普通科に加えて、中学生の多様な進路希望への対応を図るため商業科が併設され、普通科2クラス(定員80名)、商業科1クラス(定員40名)となった。

(2) 地域科学科の導入

令和3年6月に策定した「長崎県立高等学校教育改革第9次実施計画」により、松浦高校のこれまでの取組の成果や国の普通科改革に係る制度改正等を踏まえ、地域や社会の未来を担うリーダーの育成を図るために、現在及び未来の地域社会が有する課題や魅力に着目した科学的・実践的学びに重点的に取り組む地域科学科(地域社会学科)を、令和4年4月から普通科に代えて導入した。

(3) 先進的な教育の取組～まつナビ・プロジェクト～

平成29年度から、松浦市と協働して、ふるさとを大切にする姿勢を身に付けることを目指して、松浦高校2年生が地域課題の解決策について調査・考察・発表する教育活動～「まつナビ」～が開始された。

令和元年度までの3年間で取り組んだ「まつナビ」を進化させた新たな地域課題解決型学習が「まつナビ・プロジェクト」であり、令和2年度から令和4年度まで文部科学省委託事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の研究指定校となった。

「まつナビ・プロジェクト」

松浦高校と松浦市が協働で取り組んできた高等学校2年生での地域課題解決型学習「まつナビ」に、1年生での「プレまつナビ」、3年生での「ポストまつナビ」を連動させて、3年間の連続性のある探究学習に進化させたもの。生徒の課題解決能力を高めること等を目指して次の、の研究開発単位を設定し研究開発を実施した。

地域を愛し大切にする姿勢の育成と課題解決能力を高めることを目指した、高等学校3年間の地域課題解決型学習を充実させるカリキュラムの研究開発
コンソーシアムをはじめとする、地域課題解決型学習を組織的に支援する体制
についての研究開発

5. 地域科学科

5-1 設置の目的

(1) 学際領域学科又は地域社会学科を設置する高等学校を取り巻く状況の分析、学際領域学科又は地域社会学科を設置する必要性

松浦高校を取り巻く状況

- ・長崎県は若者の流出や人口減少が著しく、地域を担う人材不足が深刻化している。そのため県内の多くの地域において、高等学校と地元自治体等が協働して地域活性化に資する人材の育成に取り組んでおり、今後その取組をさらに充実させるため、学校間の活動の連携を深めるネットワークづくりを進めることが求められている。
- ・松浦高校は、令和3年度に60周年を迎えた松浦市内にある唯一の高等学校（普通科・商業科設置）であり、地域社会の未来を担う人材の育成が期待されている。
- ・松浦市からは、就学支援制度の創設（平成25年度～）、地域課題解決型学習「まつナビ」への支援（平成29年度～）、文部科学省委託事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の研究開発（令和2年度～令和4年度）において、継続的多角的な支援が行われている。
- ・市内中学校の保護者を含む地域の方々からは、自ら学ぶ姿勢を身に付け、基礎学力を高めることで生徒一人ひとりの進路希望の実現を図ることが求められている。特に大学進学に向けた教育活動の充実を望む声が強い。また、生徒一人ひとりが責任ある言動ができるなどの「人間力」の育成や、県内外の高校生との交流を深めたり、部活動の活性化を進めたりすることによる、「活力ある」学校づくりが求められている。

地域科学科を設置する必要性

- ・松浦高校のこれまでの取組の成果や国の普通科改革に係る制度改正等を踏まえ、地域や社会の未来を担うリーダーの育成を図るために、高等学校が立地する地元自治体を中心とする地域社会から得られる様々な分野の知見を学ぶことにより教養を深め、現在及び未来の地域社会が有する課題や魅力に着目した科学的・実践的学びに重点的に取り組む学科を設置する。
- ・県内の「地域に根ざした高等学校」の先行モデルとして導入し、取組の成果の普及を図る。
- ・地域科学科においては、前述の内容を踏まえ、以下の①～③の取組の推進が必要である。
 - ① 生徒個々のキャリアプランの作成をすすめ、そのプランに基づく進路希望の実現
 - ② 松浦高校と近隣の中学校及び大学等との協働による地域活性化への貢献
 - ③ 県内外の「地域に根ざした高等学校」との連携等による参加高等学校の活性化

(2) 学際領域学科又は地域社会学科における取組の目的・目標(学際領域学科又は地域社会学科における教育を通じて育成を目指す資質・能力を含む)

目的 地域社会の未来を担うリーダーの育成

～ 目指す資質・能力の涵養と地域活性化への貢献～

目標

- 1 生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望の実現
- 2 中学校、大学等との協働による地域活性化への貢献
- 3 県内外の「地域に根ざした高等学校」との連携等による学校活性化

育成を目指す人物像及び育成を目指す資質・能力(以下、「資質・能力」 a～f)

- 1 将来の目標を持ち、その実現に向けて努力を続ける人物(キャリア形成力)
 - a 「働くこと」に関する情報の取捨選択を含むキャリアプランニング力
 - b 自ら学び、行動する力
 - c 課題分析・解決能力(課題発見、データ分析、論理的考察、計画性等)
 - d コミュニケーション力(傾聴・対話・プレゼンテーション)
- 2 責任感があり、相手を思いやる言動ができるなど、品性を備えた人物
(e 責任言動力)
- 3 ふるさとを大切に思い、その発展に貢献しようとする意欲を持つ人物
(f ふるさと貢献力)

地域科学科における教育(概要)

「資質・能力」をもとに、次の1～5の教育活動の関連性を強める。また、各教育活動のルーブリック評価規準を明示し、生徒が各教育活動における取組の自己評価を行い、その改善を図ることができるようにする(指導と評価の一体化の推進)

- 1 松高キャリア・プランニング
- 2 まつナビ・プロジェクト(「地域高校」ネットワークの構築・協働研究を含む)
- 3 一人ひとりの生徒のキャリアプランを踏まえた普通教科の学びの充実
- 4 生徒の自己有能感を高めるための主体的な活動(生徒会活動、ボランティア等)
- 5 生徒の「責任ある言動」を伸ばす活動(部活動等)

「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」と並行した取組について

- ・上記「目標1」では、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」研究開発単位における「カリキュラムの研究開発」をさらに進め、育成を目指す資質・能力を身に付けさせるための指導と評価を一体的に行うカリキュラム開発を推進する。
- ・上記「目標2」では、コンソーシアムにも入る長崎大学・長崎県立大学等との連携(大学生との交流も含む)により生徒の学びの充実を図る。また、コーディネーターの設置により松浦市内の中学校との連携も強化し、中学校の「ふるさと教育」と「ま

「まつナビ・プロジェクト」をつなげる中高連携により教育活動の充実を図る。

- ・上記「目標3」では、普通科改革に取り組んでいる県内外の高等学校とのネットワーク構築を進め、連携校間の研究開発の共有による教員の資質・能力の向上及び生徒間交流による生徒の資質・能力の向上に取り組んでいく。

5 - 2 令和5年度における活動の重点項目

(1) 主な教育活動

松高キャリア・プランニング

- ・「自分の将来」について考え、決断し、その実現に向けた実践につなげる教育活動
- ・ルーブリックによる評価を活用した各教育活動における定期的な自己評価(振り返り)と「松高ポートフォリオ」への記録・検証・取組の改善

まつナビ・プロジェクト(「地域高校」ネットワークの構築・協働研究を含む)

- ・地域課題探究学習により、「課題分析・解決能力」、「ふるさとを大切にする姿勢」を育成
- ・松浦市、長崎大学、長崎県立大学をはじめとする学校外の組織等との協働
- ・「地域に根ざした高等学校」のネットワークを構築した上で協働研究等を実施

一人ひとりの生徒のキャリアプランを踏まえた普通教科の学びの充実

- ・生徒一人ひとりのキャリアプランを踏まえ、地域素材を活かした新たな教科・科目の取組
- ・まつナビ・プロジェクトとの関連を深めることなどによって「課題分析・解決能力」等を伸ばす学びの推進

生徒の自己有能感を高めるための主体的な活動の推進

- ・生徒会が中心となった行事等の企画・運営
- ・生徒有志による校則見直し委員会発足及び主体的なルールメイキング活動
- ・特別活動などにおける生徒の自発的な活動の充実

生徒の「責任ある言動」を伸ばす活動

- ・特別活動等における、生徒相互が「支え合い、伸ばしあう学び」の推進
- ・各部活動で設定した目標に基づく、「人間力」向上に向けた活動の推進

商業科との連携による教科横断的な取組

まつナビ・プロジェクトは、地域科学科と商業科との合同で実施する。地域課題探究学習を進める上で必要な課題分析・解決能力等は商業科の「情報処理」や「マーケティング」等の内容でも取り扱っており、その内容を地域科学科と商業科とが共有することで、教科横断的なカリキュラムの開発にもつなげていく。

(2) コンソーシアム等の関係機関等との連携・協力体制の構築の考え方・方法

連携・協力体制構築の考え方

コンソーシアムを中心に、まつナビ・プロジェクトでの探究活動や地域の中学生・高校生のキャリア形成力育成につながる取組への支援の充実を図る。また、生徒の多様な探究活動等への助言等が可能な地域の諸団体や人物に支援を依頼するなどして、協力体制の強化を図る。

連携・協力体制構築における重点項目

【令和4年度】

- ・ふるさと学習を起点とした中高協働学習や、高等学校、大学及び地元企業等の連携（以下、「高大職連携」）によるSDGsを踏まえたまつナビ・プロジェクトの探究活動及び中・高校生のキャリア形成力育成活動への支援の充実を図る。
- ・コンソーシアムによる効果検証等に基づき、校内の「地域科学科・活性化ミーティング」に「学びアドバイザー」や関係機関の担当者に定期的に参加してもらい、持続可能な組織の在り方を含む連携・協力体制の改善を図る。

【令和5年度】

- ・令和4年度の検証及び令和4年度末に創設した「まつうら高校応援団」との連携に基づき、地域との連携・協力体制の充実と生徒の探究活動へのより効果的な支援を進め、連携・協力体制の改善を図る。

【令和6年度】

- ・地域・学校活性化に向けた中高協働学習・高大職連携をはじめとする松浦高校と連携組織等との3年間の取組の検証等による総括、令和7年度以降の連携・協力体制等の在り方について検討する。

5 - 3 先進的な教育の取組～まつナビ・プロジェクト～

(1) まつナビ・プロジェクトとは

平成25年度、松浦市内唯一の高校である松浦高校への入学者の減少などもあって、松浦市による、松浦高校の生徒を対象とした就学支援制度が創設された。当時は2年生全員を複数の研究班に分け、松浦市役所職員が班毎のファシリテーターとなり、学年担当教職員とチームを組んで生徒の課題研究を支援する体制で始められた。平成29年度からは、松浦市と松浦高校が協働して、学校の魅力を高めることなどを目指した、地域課題の解決策について調査・考察・発表する教育活動が始められた。これが「まつナビ」である。

令和2年度からは3年間を見通したカリキュラムに変更した。また、同年度から令和4年度までの3年間、文科省委託事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」の研究指定校となった。

さらに、令和4年度4月より新しい普通科である「地域科学科」が開設されると同時に文科省2つ目の委託事業である、「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」の研究指定校となり、令和4年度については、文部科学省の2つの事業の指定を受けることになった。

松浦高校の学校改革の動き

<学校と地域との連携> **定員120名(地域科学科2学級・商業科1学級)**

H25	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒数の減少により普通科が1学年4学級(160名)から3学級(120名)となる ●松浦市による就学支援制度開始
H26	<ul style="list-style-type: none"> ●商業科を新設、普通科2学級・商業科1学級となる(定員120名)
H29	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題探究学習「まつナビ」スタート【2年生のみの活動】
R2	<ul style="list-style-type: none"> ●文科省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」研究指定(～R4年度)【1～3年生までの活動へ】
R4	<ul style="list-style-type: none"> ●普通科を地域科学科に改編 ●文科省「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」研究指定 ●普通科を「地域科学科」に改編

(2) 年間実施内容

以下の表は、本事業対象の地域科学科1、2年生におけるまつナビ・プロジェクトの年間実施内容である。

(表中の数字は実施回数である。)

業務項目		実施日程											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	地域素材を活用した授業づくり・授業実践	1	1	1	1	1	2	2	3				
	MATSUURA 仕事図鑑作成			1	4	1	4	1					
	課題研究活動に必要な知識・技能習得	2	3	3	1				2				
	研究テーマ設定								2	2	2	2	2
2年	フィールドワーク	5	1		9								
	中間発表会		3	3									
	校内発表会				1	2	5	1					
	課題研究発表会							5					
	課題研究論文作成									2	3		
	進路別探究活動											2	3

地域素材を活用した授業づくり・授業実践(4月～11月)

MATSUURA 仕事図鑑作成(6月～10月)

課題研究活動に必要な知識・技能習得(4月～7月、11月)

研究テーマ設定(11月～3月)

(ア) フィールドワーク

(イ) 地域伝統行事(淀姫神社の神事「流鏝馬」見学)

(ウ) 市役所各課やまつうら高校応援団からの現状説明会(ブース形式説明会)

(エ) 個人テーマ設定 班別テーマ設定

フィールドワーク(7月25日終日:松浦市内、隣市の佐世保市～伊万里市)

中間発表(6月21日)ポスターセッション形式

校内発表(9月27日:代表班選考会)

課題研究発表(10月25日:松浦文化会館)

課題研究論文作成

進路別探究活動

(ア) 進学就職別バスツアー(2月21日)

(イ) インターンシップ(3月12～14日)

*実際の活動については、「第2章」で説明する。

第2章 事業の内容（実施計画・・・）

1. 実施計画

1-1 活動目標

生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望の実現

1-2 実施計画

生徒の自己有能感を高める教育活動と学習評価を一体的に行うカリキュラムの研究開発

1-3 1年生の活動実績

(1) 探究性を高めるための活動【実施計画】

松浦再発見研修会（松浦市）

○日時：令和5年5月10日（水）14：05～15：45

○目的：松浦市の課題と現況を知る。

○内容：入学して間もない1年生が、松浦市の強みと課題を知るために、松浦市役所職員による研修会を行った。

第部 講演：「松浦市の強みと課題」

第部 ワークショップ：「松浦への思い」

○対象：1年生

○講師：松浦市政策企画課、文化観光課ふるさと納税・魅力発信室



ビジネスプラン/データ研修

○日時：令和5年5月27日（水）

○目的：データやものの価値の見方について学ぶ。

○内容：ミネラルウォーターを例に時代とともに変化する価値について考える。

○対象：1年生

○講師：日本政策金融公庫



まつうら未来講演会

○日時：令和5年5月24日（水）14：05～15：45

○目的：松浦市で活躍する方々に直接話を聞くことで、松浦の企業への興味・関心を高める。また、課題研究テーマ設定を行うためのテーマ設定力を身に付ける。

○内容：令和4年3月に設立された、「まつうら高校応援団」のうち8事業所に参加してもらいブース形式の講演会を行った。

○対象：1年生

【外部参加者】

住商エアバッグ 中興化成工業 稲沢鐵工 近江鍛工 九州電力 みやだデザイン
日本遠洋旋網漁業協同組合/西日本魚市 エミネントスラックス



6月4日 長崎新聞

企業の熱意 生徒に届く 松浦高で未来発見講座

松浦市志佐町の県立松浦高（舟越裕校長、189人）は5月24日、1年生向けに「松浦未来発見講座」を校内で開き、地元のさまざま

な業種で働く大人たちから仕事内容や熱意を聞いた。地域を挙げて同校を支援するまつうら高校応援団に加盟する市内8企業・団体が参加。生徒は関心のある企業のブースを約10分ずつ回り、説明を受けた後、仕事のやりがいや必要とされる人材、休日の過ごし方などを積極的に質問していた。参加した「**〆**」さん（15）は「ものづくりの企業からは『いい品物を相手に届けたい』という思いが伝わってきた。仕事への向き合い方も今後のお手本になる」と話した。

（則行優志）



地元企業関係者（左）から説明を受ける生徒 二松浦高

MATSUURA仕事図鑑

○日程：令和5年度6月～10月

- 目的：・仕事に対する理解を深め、自らのキャリアプランニングの一助とする。
- ・地域の方々へのインタビューを通して、コミュニケーション力を身に付ける
 - ・地域課題の発見などを理解することで、課題研究テーマ設定力を高める。
 - ・将来は松浦に貢献したいという気持ちを醸成し、将来的なふるさと貢献力を高める。

○内容：まつナビ・プロジェクトの活動の一環として、1年生が、グループごとに松浦市で働くの方々へのインタビューを行い、仕事の魅力や働く意味などをまとめた冊子を作成する。

スケジュール

	日付	内容	目的や留意事項
1	4～5月	前年度の仕事図鑑配布 作成する成果物のイメージを膨らませる。	前年度にインタビューした事業所は対象から外す。
2	5/31 (水)	仕事図鑑インタビュー先の検討 松浦市やまつうら高校応援団などから講演いただくことで、これまで知らなかった地域を知り、インタビュー先の候補が広がった。その中から3～4名の班単位でインタビュー先を決定する。	各クラスで分かれた班でインタビュー先を検討。担当教諭とも面談を重ねて、訪問先を決定する。
3	6月～ 7月上旬	アポイント取り 最初は各クラスの担任・副担任で手分けして、趣旨・内容説明と7月25日(火)の取材が可能かのアポイント取りを行う。	趣旨説明(目的・ターゲット等)はしっかり生徒へ行う。 依頼文書の送付先(担当者?責任者?代表者?)を訪ねておく。 後日(約1週間前)生徒からも電話があることをお伝える。
4	7/12 (水)	取材計画/模擬インタビュー 何を聞いてどのようにまとめるかを班で考え、インタビューアや写真係、記録などの係を決めて、実際に各班の担当教員を前に模擬インタビューを行う。	班員で、交代で役割のロールプレイングを行ってみる。その後役割分担を決める。
5	7/19 (水)	写真の撮り方講座/記事の書き方講座 地元の写真のスペシャリストを招いて、写真の撮り方講座を行う。写真は一人一台配布されているタブレットPCで撮影する。記事は長崎新聞社の記者による講座を行う。	ここまでの活動で疑問や不安なことをまとめておき、質疑応答の時間には、積極的に手をあげる。
6	直前	リハーサル 各班でリハーサルを進める。	担当教員(ファシリテーター)をモデルにリハーサルを行い、記録や写真のとりかたなどを研究する。
7	7/25 (火)	一斉取材 インタビュー開始10分前までには、現地でスタンバイを済ませる。バインダー 筆記用具 タブレット 名札 インタビューシートを忘れずにもっていく。	引率なしで生徒(班員)のみの活動になる場合もあるので、しっかり挨拶をして、和やかな雰囲気をつくる。
8	この期間	まつうら高校応援団による支援 応援団に入っている事業所のうち、記事をまとめたり、レイアウトを考えるプロフェッショナル(専門家)に生徒の活動に入ってもらうなど、アドバイスをもらいながら、校正をすすめる。	来校していただける日は後日連絡する。ここまでで困っていることや不安に思っていることをまとめておく。
9	9/6 (水)	原稿提出 夏休み期間中にMicrosoft teamsでやり取りを進め、原稿をこの日に提出する。	夏休み中に、応援団のアドバイザーに相談に行ってもよい(必ず担当教員の許可を得ること)
10	この期間	訪問先に報告 写真や作成した文書を持って、インタビューをした方を再訪問し、この記事内容や写真で良いか、許可をとる。	仕事図鑑報告会の実施についてアナウンスもする。
11	9/13 (水)	仕事図鑑報告会 原稿を拡大したもので、説明会を行う。新しく何かを作ることはしない。インタビューをお願いした方にも声かけをするが、規模の大きな発表会にはしない。	地域の方々に感謝の意味も込めた報告会にする。長崎県立大学生にも参加いただき、助言をもらう。
12	10月末	成果物完成 報告会の後、アドバイスを受けて微調整を行い、最終稿を提出。1週間程度で完成。	大きな変更はしない。県立大学生の助言を聞いて微修正。

地元企業の魅力を図鑑に



完成した「MATSUURA仕事図鑑」を手に笑顔を見せるデザイン班のメンバーと宮田さん（後列左端）
＝松浦市、松浦高

松浦高1年生 取材し作製

松浦高は2017年度から、まちの課題解決に取り組む「まつナビ」を市と共同で実施。22年度から文部科学省の「新時代に対応した高校改革推進事業」の指定校になっている。

仕事図鑑は地域と生徒の結び付きを形にしようと、22年度に続き、生徒たちは昨年7月、3〜4人1組で取材先を訪問。インタビュや写真撮影に臨み、10月ごろまで記事執筆と校正を進めた。並行して、表紙デザインや記事のレイアウトを考案する有志6人のチームも発足。同市志佐町でデザイン業などを営む宮田友香さん（40）が助言役として参加し、生徒たちのアイデアを誌面に反映させた。

仕事図鑑（A5判、26頁）は昨年12月下旬に完成。同校の制服に採用されている「松浦タータン」を各ページの上下にあしらった。ページを示す数字も、地元グルメのアシラフのイラスト入りで表示。仕事内容や「ロケモノ」の読みやすさにもこだわった。

コンセプトは「小中学生に読んでもらい、仕事について考えてもらう」。デザインチームのひとり、(16)は「将来やりたいことを地元でも見つけられるんだと感してもらえれば」と仕事図鑑に込めた思いを語った。

同校に隣接する市立志佐中の年徳校長世校長は「詳しく調査し、松浦のことがよく分かる。地域を学ぶ総合学習や進路指導の教材として役立てたい」と話した。

（取材：藤巻 志）

松浦市志佐町の県立松浦高（舟越裕校長、189〇）の1年生62人が、地元に関わったさまざまな仕事の魅力を紹介する「MATSUURA仕事図鑑」を作製した。市内計20カ所の事業所などの取材から記事執筆、レイアウトまでを手がけた力作。校内で閲覧できるほか、市内の小中学生全員に贈った。

読みやすく工夫 市内小中学生に配布



小中学生向けに読みやすさを重視した「MATSUURA仕事図鑑」

(2) 主に主体性を高めための活動【実施計画】

外部講師によるワークショップ

(ア) 課題探究テーマ設定に向けた基礎講座

○日時：令和5年10月4日（水）13：40～15：10

○目的：これから研究活動のテーマ設定を行う1年生がワークショップ等を通して課題探究テーマを設定する手法を身に付ける。

○内容：(前半)ワークショップ(ゲームをしながら論理的思考力を高める)
(後半)テーマを決めるための具体的な手法等の講義

○対象 1年生(62名) 1学年教員

○講師 伊万里まちなかラボ・コミュニケーション マネージャー 馬庭 亜由 氏

(イ) 産業能率大学による研修会

○日時：令和5年10月16日（月）

13：55～16：45

○目的：これから課題研究テーマ設定を行う1年生の課題や研究テーマの見つけ方やその後探究を進めるためのスキルアップを図る。



○内容：主体的学習者育成プログラム

世の中の事象を、問題意識をもって観察し、観察によって得られた事実を多様な視点から解釈できる！ことを体験する。

○対象：1年生向け 13:55～15:35(100分)

職員向け 15:55～16:45(50分)

○講師：産業能率大学経営学部 杉田一真教授(学長補佐)

(ウ) プレ構想発表会(仮テーマ設定)

○日時：令和5年12月6日(水) 14:05
～15:45

○目的：これから本格的にはじまる課題研究テーマ設定について、現時点で生徒が考える研究の対象・目的・方法等について確認する機会とする。また協働して研究する仲間づくりを生徒自身が行っていくための一助とする。



○発表形態：パワーポイントを用いたプレゼンテーションとし、1プロジェクト(1PJ)につき1分程度で発表する。1PJ…1人～3人で編成

○対象：1年生

今年の発表テーマ

with DANCE さばやアジの捨てられるウロコを活用したい 松浦のお土産をつくろう
「チャレンジド」松浦 障がいと松浦 松浦と韓国の交流をつくる あらゆる人が楽しめる町づくり
松高に購買部をつくろう Homepage innovation 食品ロス0計画 他校生と交流し、知名度UPにつなげよう
町からゴミを減らそう 空き屋食堂 松浦の魅力を伝えよう プロモーション強化
松浦の行事を増やそう 松高を有名に!! エディブルフラワー x スイーツ
空き屋を活用してみんなで遊べる所を作ろう スイーツを使って松浦市の知名度を上げよう
Cooking大作戦 松浦を盛り上げよう! ごみピカ 松浦の人口増加のためにベビーカステラを
松高のイベントを増やす SNSで松浦市の知名度UP 街PRで知名度UP
少子化 松浦のお土産「クッキー」をつくる 松浦の知名度UP

(3) 主に協働性を高める活動【実施計画】

班別構想発表会(テーマ設定)

○日時：令和6年2月21日(水) 13:55～16:00

○目的：地域課題解決に向けての構想を発表することにより、プレゼンテーション能力の向上や今後の活動の改善を目指す。

○発表形態：パワーポイントを用いたプレゼンテーションとし、1班につき3分程度で発表する。*1班3～4人で編成

○対象：1年生

課題研究テーマ一覧（1年生）

班番	テーマ	課題	内容
02	水産業の活性化	漁業人口の減少	漁業体験や水産業関係者へのインタビューを通して、水産業の魅力を知り、若い世代へ発信する。
03	まつピカ	ゴミ問題	ゴミ拾いで松浦をきれいにする。
04	保湿剤製作	アジの捨てられるウロコを少しでも減らす	アジのうろこからコラーゲンを抽出し、そのコラーゲンを保湿剤に活用した製品を作る
05A	スイーツ製作	松浦市の知名度 特産品が「アジ」だけという イメージを変えたい	スイーツづくり 菓子店とコラボして持続性を確保する
05B	スイーツ製作	観光客の減少	食用花を使ったスイーツづくり クッキーを作る
06	あらゆる人のための町づくり	人口減少 環境保護 知名度 観光客増加	協力者を探す 資金集め 共同開発を進めていく 様々な人に対応した冊子づくり 広告（チラシ）
07	ひろがる「輪」	障がいを持った方々との交流の機会が少ない	手話を習得する 聴覚障がい者の方々が困っていることを聞いて解決に向けてお手伝いする 発表会で発表することで多くの人に知ってもらう
08A	他校生と交流しよう	他校との交流が少ない 松浦市・松高の知名度 UP 他校生との交流	松高に他校の高校生を呼ぶ 2日間の交流会を行う 長崎（松浦）どちらかの課題を見つける 一緒に見つけた課題を解決するための活動を考える その機会を使って松浦市や松高の良さを知ってもらう
08B	イベント誘致	松高の文化祭をもっと盛り上げたい	後夜祭 イルミネーション ランタンのな?? キャンプファイアー 募金活動
08C	想いよとどけ	行事が少ない	キッチンカーや屋台を呼ぶ
10	動物保護	野良犬・野良猫の殺処分増加	フィールドワークに行き、松浦市の現状を聞き、課題を見つけ解決する！
11A	Homepage innovation	松高の知名度 UP	松高の HP を追加する
11B	SNS を使って松高知名度 UP	松高の知名度 UP	インスタグラムで松浦高校を紹介する
11C	民話のアニメ化	松浦市の人口減少	メロンやブドウ、トラフグなどの動画を UP 松浦特有の企業やお店を紹介

1 - 4 2年生の活動実績

（1）主に協働性・社会性を高める活動【実施計画】

中間発表会

○日時：令和5年6月21日（水） 14：05～15：45

○目的：地域課題解決に向けての研究について、進捗状況を発表することで、生徒自ら研究の対象目的・方法等について確認する機会とする。また、今後の課題研究について専門家からアドバイスを受けることで研究の方向性を確かめる。さらに、全体の前で発表することで、校内発表および課題研究